



みせん

瀬戸内海国立公園
宮島地区パーク
ボランティアの会

第104号

発行日
令和8年6月1日

◇ 目 次 ◇

- | | |
|-------------------------|--------------------------|
| P-2:入浜池定点観察④入浜池維持管理作業② | P-13:定期総会 部会打合せ |
| P-6:会員自主観察会(6)(野鳥観察 宮島) | P-14:(定期総会の午後)小なきり海岸清掃作業 |
| P-8:コバンモチ樹木ネット保全確認作業 | P-15:澤野自然保護官着任挨拶 |
| P-10:宮島学園卒業記念植樹作業協力 | P-15:編集後記 |
| P-11:鷹ノ巣高砲台跡地清掃・整備作業 | |

「 令和8年度定期総会 」



今年度も新規会員 12 名を迎え、定期総会を 4 月 11 日に開催しました。設立 26 年となりますが、前回の加入者 9 名を加えると 21 名となり会員の半数近くが新しいメンバーとなっています。また女性会員が 15 名となり華やぎます。以前から実施の継続行事活動でも、新しい方にとっては初めての新鮮な体験になるはずです。新しい会員の要望を取り入れて会活動を充実できれば良いと考えます。宮島愛を発揮して 楽しく明るく元気に活動していきたいものです。年間を通じて多くの行事が組まれていますので 積極的な参加をお願いします。

(写真：河野(進) 文：岩崎義一)

入浜池定点観察④

入浜池維持管理作業②

日時：1月24日（土） 9:00～11:00

天気：曇りのち晴れ（強風）

行事推進員：大西 小川 豊原 穂井田
松田・元広

参加者：青木 上杉(裕) 上杉(幸) 小川
熊埜御堂 黒川 河野 末原 豊原
中丸 穂井田 舛田 村上(慎)
元広 森 山本(昌) 以上16名
(環境省) 中口自然保護官
(新規会員養成研修者) 3名



入浜海岸のゴミ拾い

【入浜池維持管理作業】

会員の自家用車5台を準備して頂き入浜まで行きました。

車中、雨が降り出し心配されましたが到着する頃には止み作業に取り掛かる事ができました。海岸の水路に積んでいた土止用の土のう袋が破損し散乱していた為、撤去作業をする。その後、水路内の清掃を行う。スコップなどの力作業でしたが水路が綺麗に整備されました。

他のメンバーで海岸や池の周辺のゴミ拾いをする。赤ちゃんの紙おむつがあり驚く。バーベキュー後の金網、鍋などの放置にがっかりさせられる。ペットボトル、缶、びんのポイ捨ては日常的に見られる光景で悲しくなります。ごみの仕分けをして集積場へ運ぶ。寒い中の作業でしたが、いつの日かポイ捨てごみが無くなる事を祈りつつ、皆さんの協力で無事作業を終えました。

(文：熊埜御堂 写真：河野)



水路の整備清掃



ゴミの分別

【水質調査】 舛田 祐子
調査班：小川 豊原 舛田

入浜池の水質調査の報告書 調査結果は下表のとおりです。

R8.1.24 (土)	満潮	13:09	323cm	干潮	6:54	38cm			
天候	少雨/晴れ	前日の天候	晴れ	測定参加者	小川、豊原、舛田				
気温	9:35 集合場所	日陰	6.2°C	最低気温	10.2°C 最高気温20.9°C (気象庁・広島データのより)				
調査時間	9:42	9:35	9:48	9:49	9:51	9:54	9:55	10:23	10:28

測定地点	A	B	中央付近	C'	D	E	F	山水	海水
水流	—	なし	—	—	—	—	—	○	—
油膜	—	なし	—	—	—	—	—	濁りなし	濁りなし
杭、水位(cm)	—	なし	—	—	—	—	—	—	—
水温(°C)	—	4.2	—	—	—	—	—	5.1	12.8
水深(cm)	—	2	—	—	—	—	—	5	10
PH	—	7	—	—	—	—	—	6	7
塩分濃度	—	2.8	—	—	—	—	—	0	3.1
COD	—	8	—	—	—	—	—	0	—

池水の状況

※測定地点はすべて干上がっていたが、B地点のみ杭から1m地点で測定
 ※F地点、海からの流入なし
 ※10:00 B地点の対岸で測定した結果、水温4.5°C (陰) 6.5°C (陽)、PH5、COD8、塩分濃度2.67 山水の流入はなし、であった
 過去3か月の降水量(広島市 10月92mm、11月33mm、12月30mm気象庁データによる)が少ないため、池の塩分濃度は高かった
 ※広範囲の泥堆積地にはイノシシ、シカ、小動物の足跡多数。イノシシのヌタ浴び跡も多くあった
 ※B地点の湖底に5cmくらいのハゼの仲間1匹がいた ミズムシ属と思われる水生昆虫がいなかった
 ※オスの子鹿らしき頭蓋骨があった



入浜池の水位 (B 地点)



水位の下がった入浜池



水質検査



入浜池で見つかったシカの頭蓋骨

【野鳥観察】元広 修爾

調査班：穂井田 中丸 元広

天候は、雨でした。3名で、入浜池周辺の林の中、やや開けた広場、海辺の3地点で調査を行いました。

本日の嬉しい出会いは、ウミアイサ（海秋沙）でした。岩場近くの比較的浅い海で、何度も潜っていました。穂井田会員、中丸会員と共に観察することができました。

もうひとつの嬉しい出会いは、入浜池の上空を飛んでいたミサゴ（魚鷹、鶚）でした。河野会員、新会員さんと一緒に観察することができました。

皆様、お疲れ様でした。

入浜野鳥定点調査 1月24日雨 9:30～11:00

種名	数	種名	数
ウミアイサ	2	エナガ	5
ミサゴ	1	シロハラ	1
トビ	3	ジョウビタキ (オス)	1
ヤマガラ	2	カワラヒワ	2
シジュウカラ	5	アオジ	5
ヒヨドリ	15	計11種	

季節区分	冬鳥	夏鳥	留鳥

季節区分は、『ひろしま野鳥図鑑』（2002年 日本野鳥の会広島県支部（編）中国新聞社刊）」による。



2026.1.24 ウミアイサ（入浜池前の海辺）
（中丸会員撮影）



2026.1.24 アオジ（入浜池）
（中丸会員撮影）

【植物観察】山本 昌生

◇ヒトモトススキ調査

雨が少なかったため、池の水はかなり少なかったです。シカよけネット内のヒトモトススキはいずれも順調に生育していました。寒い時期なので前回調査の11月の状態と差がありませんでした（写真1）。

◇ほかの植物の様子

開花植物：なし

結実植物：シロダモ、キミノシロダモ、サルトリイバラ、タイミンタチバナ、サカキ、ヒサカキ、ハゼノキ、ネズ、タマミズキ（赤い実が目立ち、少し離れた山の中に見つけた写真2）。キミノシロダモは島内でも珍しいので、大きさを測定しました（写真3・4）。地面から1.2mの高さの幹周りは16cm、樹高は目測で約3mでした。



写真1.シカよけネット
3つの状態



写真 2. 山の中に見えたタマミズキ
(写真：河野)



写真 4. キミノシロダモの実
(11月の見ごろに比べて実がすぼれている)



写真 3. 道路沿いのキミノシロダモ



植物観察



集合写真
(写真：河野)

会員自主観察会 (6)

野鳥観察 宮島

日時：2月7日（土）9：30～12：00

天候：快晴

場所：宮島

ルート：大元公園（海辺⇒森⇒広場）

→もみじ茶屋（鳥合わせ）

行事推進員：大西 穂井田 元広

参加者：青木 大西 折出 河野（進）

末原 中丸 穂井田 村上（慎）

元広 山本（昌） 以上 10 名

日本野鳥の会 吉岡夫妻

新規会員養成研修者：10 名

開会前に宮島水族館の横で海を見ていると、4羽のヒドリガモに出会いました。ヒドリガモは冬鳥として日本にやってきます。

続いて、木々の中からカワラヒワの声が聞こえました。また、吉岡さんが松の林のなかでクイタダキを見つけたので、一緒に観察をしました。双眼鏡で見ると、クイタダキは弱い朝日を浴びながら、松の先の枝のあいだを盛んに動き回っていました。クイタダキは、とても小さな鳥です。

海に目を転じると、3羽のカワウが低空飛行で飛んでいくのが見えました。

参加者が徐々に集まってきたとき、上空に一羽のミサゴが現れて、対岸の大野に向かって飛んでいきました。大西会員が「あれはミサゴです。今がチャンスですよ」と皆に知らせ、皆で飛んでいくミサゴを見ました。

休憩所横の干潟に目を転じると、マガモのオス・メス（26羽）が群れていました。羽根に首を入れて、ぷかぷかと浮かんでいる様子はかわいらしいものでした。

こうしてたくさん野鳥に出会った後で、開会式が始まりました。山本部長から「野鳥をしっかりと見てください」という話がありました。末原会長からは「怪我のないようにお願いします」という話がありました。穂井田会員からは、配布した資料にそって野鳥をチェックすることと、野鳥を見つけたときは周囲の人に知らせるようにとの話がありました。

その後、観察会が始まると、曇っていた空に薄日が差ししてきました。岸壁にそった砂浜に、イソシギがいるのを吉岡さんが見つけて、スコープでとらえました。大西会員によると、ここではイソシギはなかなか見られないのだそうです。双眼鏡で見ると、イソシギは波の動きに合わせてちょこまかと動き回っていました。

やがて、上空にミサゴが現れて、続いて、岸壁そばの砂浜にハクセキレイが現れました。また、先ほどからマガモが波間に浮かんでいます。ところがスコープは2台しかありません。皆に見てもらうために、どの野鳥をとらえるか、大西会員と吉岡さんが困っていました。

海辺の観察会を終えて大元公園の中に移動する途中で、松の枝先にキジバトがいるのが見えました。双眼鏡で確認してみると、朝日を浴びながら、左右を見ていました。皆でキジバトを観察しました。

大元公園に入ると、カワラヒワなどの混群に出会いました。カワラヒワたちは、すっかり葉が落ちた木の枝の上で群れていました。カワラヒワはじっとしていません。森の奥の方へと飛び立ってしまいました。

中丸会員に促されて、枯れた流れを見ると、石の上にヤマガラがいました。双眼鏡で見ると、ヤマガラは石の上を飛び回っていました。ヤマガラは雌雄同色ですが、体下面の茶褐色がとても印象的です。穂井田会員に促されて地面を見ると、カワラヒワもいました。

そのとき、高い木々の中から、5羽ほどの群れが飛び立ちました。穂井田会員によると、おそらくアトリだとのことでした。

小さな橋を渡った先の森の中では、ジョウビタキのオスに出会いました。枝先にとまってじっとしています。吉岡さんと観察しました。ジョウビタキのオスは体下面が赤橙色をしていて、とても鮮やかです。

大元公園の中央部分に移動します。穂井田会員がメジロ、コゲラ、ヤマガラを見つけて、皆に知らせました。ウグイスの声も聞こえました。吉岡さんはシジュウカラを見つけて、皆に知らせました。さらに穂井田会員がベンチの向こうにいるセグロセキレイを見つけて、皆に知らせました。双眼鏡で見ると、セグロセキレイは地面を歩き回って何かをついばん

でいました。穂井田会員によると、セグロセキレイは日本固有種だそうです。こうして次々に現れる野鳥たちを皆で観察しました。

中丸会員は、シロハラの声に気付いたのですが、どこにいるのかは分からないとのことでした。私もシロハラの声聞いたので、たしかにそこにいたのだと考えられます。大西会員は、ソウシチョウの声を聞いて、皆に知らせました。

以上のように、参加者全員で多数の野鳥を観察できた一日になりました。

その後、参加者全員で鳥合わせをしたところ、結果は以下のとおりでした。

コゲラ、イソシギ、ミサゴ、ジョウビタキ、シジュウカラ、ヒヨドリ、ヤマガラ、ヒドリガモ、マガモ、カワウ、トビ、アトリ、カワラヒワ、カルガモ、キジバト、アオサギ、メジロ、シロハラ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ウグイス、ククイタダキ、ハイタカ

以上 25 種

寒い一日でしたが、皆様お疲れさまでした。

(文：元広 、 写真：河野)



説明していただいた野鳥の会の吉岡夫妻



マガモ・ヒドリガモ



カワラヒワ (中丸会員撮影)



野鳥観察 (大元公園)



カルガモ (中丸会員撮影)



野鳥観察 (聚景荘横展望台)



セグロセキレイ (中丸会員撮影)



集合写真

コバンモチ樹木ネット 保全確認作業

日時：2月28日（土）9：00～14：00

天候：快晴

場所：広島大学植物実験所 内待岩～大江東

行事推進員：青木 山本(加) 森

参加者：青木 上杉(裕) 上杉(幸) 折出

河野(進) 末原 村上(慎) 森 山本(昌)

以上9名

広島大学：坪田准教授夫妻、内田技官、

職員・学生2名 以上5名

広島大学理学部付属宮島自然植物実験所（以後、実験所と略記）の内待岩から大江東付近西側の海岸に沿う急斜面に自生するコバンモチは、南方系の樹木で宮島が北限の希少樹木とされる。そのため、鹿の食害保護に取り付けた樹木ネットの保全及び生育状況確認（管理番号と植生マップ：約90本対象）を、3年ぶり（前年が悪天候にて1年順延）に広島大学と連携して実施しました。

当日は、快晴の中、参加者14名が、広島大学、PV会員有志手配の車4台に分乗、実験所に向かいました。今回の作業場所は、実験所の管理施設から山道を歩き30分程度の場所でした。往路の途中には、現在広島大学の管理下にある近代化遺産「室浜砲台」にも短時間ですが立ち寄ることもできました。

作業場所に着くと、最初に広島大学坪田准教授から、自然の植生を保護する活動は、地球温暖化防止の炭酸ガス削減に繋がるものであること、また今回のコバンモチ樹木ネット保全活動は、2003年に始まり植生マップと合わせ子細な生育記録（樹高、幹回りを実寸）を残してきた活動として、弊会の協力にも感謝のお話がありました。

調査は、植生マップを基に3班に分かれて始めましたが、作業場所はシダに覆われて足元が見えない処や急斜面が多く、足元の安全を確保しながらの作業となりました。前回、3年前の調査と比べて特別大きな変化は見られない中で、「幹が大きくなり管理番号札が食い込んでいる」「新しい若木を見つけた」「ネットの隙間から鹿の食害が見られた」等、各班担当作業の概要確認後、12時30分頃にて作業を終了しました。

昼食は、眼前に広がる大野浦水道を眺めながら山道に腰を下ろして済ませ、帰路は、山道の途中から潮のひいた海岸を砂浜におり、末原会長自ら参加者を先導され14時には実験所に戻りました。

次回は2年後になりますが、急斜面で行う調査作業負荷を考えると、隔年で継続する活動として実施する内容は別途検討予定です。

（文：青木、写真：河野）



保全・計測道具 (3班分)



ネットの補修



現地到着 (樹高計の使い方説明)



コバンモチの樹肌 (札番号 44-1)



坪田准教授挨拶



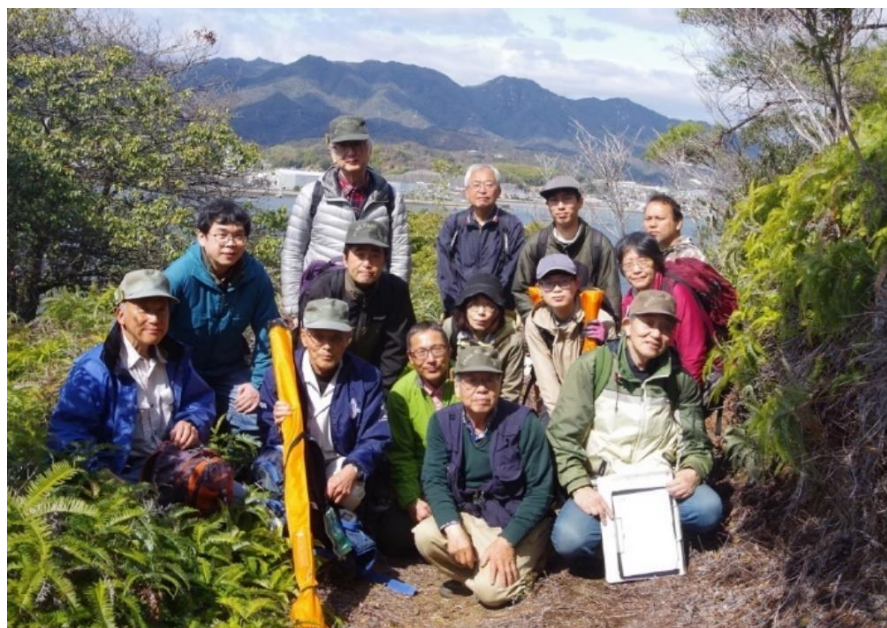
道のない急斜面を登る



コバンモチの全周測定



帰路_海岸を歩く



集合写真

宮島学園卒業記念 植樹作業協力

日時 3月12日(土) 8:30~14:00

天候：快晴

場所：獅子岩駅周辺

参加者：青木 小川 末原 以上3名

宮島学園卒業記念植樹は、広島森林管理署体験植樹事業の一環として、宮島学園卒業生(9年生)に、宮島ロープウェー獅子岩駅周辺の植生を復元させるために、広島大学宮島自然植物実験所坪田准教授のご指導により、7年生の時に種を蒔き、育てた苗木を卒業時に植樹しています。

植樹作業は、宮島学園卒業生19名、教職員4名、広島森林管理署職員、広島大学宮島自然植物実験所職員、ボランティア団体を含めて56名の参加で、アラカシ他9種40本を植樹しました。

卒業生は、宮島栈橋で苗木40本を車に積込み、宮島ロープウェー紅葉谷駅に移動し、ロープウェーで苗木や物資を運搬し10時頃獅子岩駅に到着しました。

開会式後、3班に分かれ植樹作業を開始しました。植生穴(直径30cm、深さ30cm)に土と腐葉土を混ぜて50cm~1mの苗木を植え、水と枯葉を蒔いた後にシカ除け防護柵を設置しました。

植樹作業は生徒が行い、ボランティア参加者は苗木や物資の運搬、植樹や防護柵設置時の作業補助、補修の手伝いを行いました。

(文、写真：末原)



開会式



植栽状況 (1)



故増田会員育成のヤマザクラ (昨年植栽)



植栽状況 (2)



植栽後状況

鷹ノ巣高砲台跡地 清掃・整備作業

日時 3月14日 (土) 9:30~13:30

天候：快晴

場所：鷹ノ巣高砲台跡地

行事推進員：佐藤 畑野 村上(慎)

参加者：青木 小川 折出 河野(進) 末原 兎谷

豊原(清) 中丸 畑野 穂井田 舛田 三戸

村上(慎) 山本(昌) 以上 14名

環境省 中口自然保護官

新規会員養成研修者：7名

昨年は雨天中止となり2年ぶりの開催となりました。最初は肌寒かった気温も天候に恵まれ快適に作業を行うことが出来ました。今回は新規会員養成研修者が多いこともあり、作業開始前に末原会長より鷹ノ巣高砲台について説明がありました。

ここは明治31年(1898)2月、ロシアの「バルチック艦隊」の広島湾・呉軍港への入港を阻止するために、広島港一体に設けられた数か所の砲台の一つで6基の28cm榴弾砲が設置されました。しかし、実戦で使われることはなく大正15年(1926年)に廃止されました。

作業はまず、井戸や炊事棟・厠等があった広場から方位観測所までの坂道の清掃から開始。溝を深く掘った様な坂道のため両側が高さ2~3メートルの壁の様で、それを越えて落ち葉や土砂を山に戻すのが大変でした。次に上部の観測所跡や司令室跡を清掃。落ち葉の除去が主な作業でした。司令室跡近くには展望が開け見晴らしが良い所や、座りやすい所もあるため休憩するにはもってこいです。

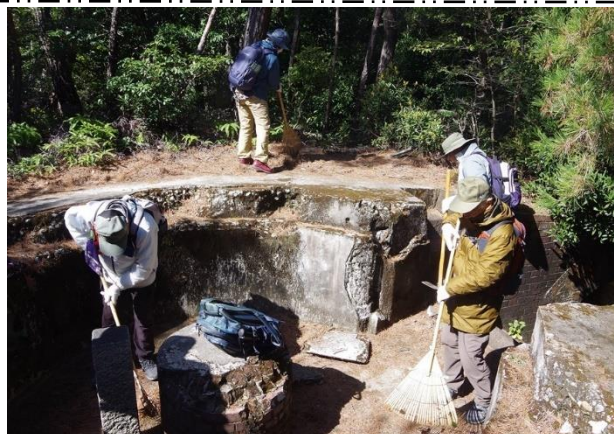
最後に3箇所ある28cm榴弾砲の砲座跡周りを清掃して11時40分に全作業を終了。砲座跡周りは平地で広く日当たりも良いためここで昼食を取り12時30分に鷹ノ巣高砲台を後にしました。

作業中1組2人の登山者が来られました。ここに来られる方は非常に少ないと思いますが、この作業を通じて宮島にも戦争遺構があることをしっかりと後生に伝えて行きたいと思いました。

(文：村上(慎) 写真：河野)



清掃整備手順の説明（高砲台跡地広場）



方位観測所の清掃



末原会長お手製のヤブニッケイ団子



連隊長指令室跡の清掃



方位観測所に続く階段の清掃



中口自然保護官の挨拶



集合写真

定期総会・部会打合せ

日 時：4月11日（土）9:30～12:30

場 所：宮島まちづくり交流センター杉之浦

出席者：青木 麻生 伊藤 岩崎 上杉(幸)

折出 恩田 川本 熊埜御堂 黒川

河野(進) 河野(敏) 末原 種本

近末 豊原(清) 豊原(尚) 豊原(祐)

中丸 中道 濱村 穂井田 舛田 松田

村上(慎) 元広 森 山田 山本(昌)

以上 29 名

(委任状提出者 11 名)

環境省：澤野自然保護官 大高下 AR

1.開会（司会 岩崎副会長）

配布資料の確認のあと、新入会会員を含め出席会員全員が自己紹介を行った。

2.環境省、会長の挨拶

・環境省 澤野自然保護官

松江より移動してきました。4月で在籍22年目、広島事務所は8か所目になります。皆さんと一緒に「宮島愛」で宮島の魅力を全国に伝えていきましょう。

・大高下 AR

12名の方が新たに入会していただきありがとうございます。活動を通していろいろ発見していただき、知るといことが自然保護につながると思うので、周りの皆さんに伝えてほしい。

・末原会長

会員動静は6名退会11名入会で会員数は44名となりました。

- ・環境省の保護官異動がありました。
- ・昨年度は25周年行事として、宮島水族館見学、記念講演（永長次長）、CD（みせん～100号）配布を実施しました。
- ・幹事会はどなたでも参加できますの参加をお願いします。
- ・活動への参加は、体力や体調に合わせて無理のないようお願いします。
- ・25年間無事故・無違反で活動できた。

3.開会挨拶・総会の成立確認

司会：岩崎副会長)

出席者29名、委任状提出者11名、合計40名で全会員数44名の半数以上であり、総会成立を確認。

4.議事（議長 末原会長）

(1) 次の4議案につき会長、各部長、会計、監査から説明・報告があり、異議なく承認された。

議案第1号：令和7年度活動報告

議案第2号：令和7年度決算及び監査報告

議案第3号：令和8年度活動計画（案）

->11/28 会員研修会の行先を募集中

->12/12 臨時総会研修会発表は

大高下 AR です。

議案第4号：令和8年度予算（案）

->次年度に向けて年会費 UP の検討

(2) その他審議事項

- ・「緊急連絡カード」の携帯必要性説明（森会員より）

決議：以上を満場一致承認された。

5. 周知連絡事項等

- ・新会員の自己紹介の依頼
- ・本日と当面の行事案内について
- ・各部会に分かれて打合せ実施（30分間）

6. 閉会挨拶（岩崎副会長）

7. その他

- ・会費等の集金：会則第10条に基づく年会費¥1,000円
- ・会員更新及び入会に伴う会員登録証の交付手続き
- ・25周年CD配布（未配布者のみ）

8. 玄関前の満開の桜を背景に集合写真撮影

9. 各部会に分かれ部会打ち合わせ行う。

今年度の活動計画の具体化を中心に討議し、12時30分に終了。

※午後からは、昼食を挟んで、小なきり海岸清掃活動と入浜池定点観察の活動実施。

（文：麻生 写真：河野、麻生）



受付の様子



観察部会打合せ



総会



広報部会打合せ



自己紹介の様子

小なきり海岸清掃作業

日 時：4月11日（土）13:00～15:00

場 所：宮島 小なきり海岸

出席者：青木 麻生 岩崎 上杉(幸) 折出 恩田
熊埜御堂 黒川 河野(進) 末原 種本
豊原(尚) 濱村 村上(慎) 森
以上 15名

環境省： 大高下 AR



環境整備部会打合せ

葉桜舞い散る晴天の土曜日、総会を終え昼食後、徒歩にて小なきり海岸へ移動する。会員 15名、環境省 1名 計 16名で海岸の清掃活動を行いました。生活ゴミなどが流れ着いており参加者ひとりひとり無言になって拾うほどのゴミの量でした。ペットボトルの多さに驚きました。何処から何故、流れ着くのかイタチごっこの作業で悲しい気持ちになりますがゴミが無くなる日を祈りつつ宮島の海岸を綺麗にする作業はこれからも続けていきます。

(文：熊埜御堂 、写真：河野)



集合写真

澤野自然保護官着任挨拶

◆出身地：山口県

◆経歴：カメラマン
（宮崎）、花屋（奈良）を経験した後、平成17年に環境省に入省。やんばる（沖縄）→本省→釧路（北海道）→本省→長野→鳥海南麓（山形）→羽黒（山形）→松江（島根）を経て今年4月に広島事務所。



◆趣味：風景写真撮影（特に朝焼け夕焼け）

◆ひとこと：4月に米子（鳥取）に家族を置いて単身で広島に参りました。15年ぶりの

一人暮らしで寂しい反面、自由で背中に羽が生えたような感覚でいます。宮島は25年前の花屋の社員旅行で来ましたが、アナゴ丼を食べて水族館に行った記憶しかありません。趣味は風景写真です。宮島はすでに国内外から多くの観光客が訪れる地域となっており、人知れずそこにある宮島の美しい自然風景、魅

力を探していきたいと思っています。宮島でお勧めの場所がございましたら是非教えてください。前任地の松江では、国立公園のお話をよく地域の皆様にさせて頂いておりました。国立公園ってなんとなく分かるけど、どういう仕組みなのかはあまり広く知られていないように思います。もし、国立公園について知りたい！というご要望がございましたらいつでもお話をさせて頂きたいと思っていますのでよろしくお願いします。

◇ 編集後記 ◇

新規会員迎えて心機一転。
次号は9月1日発行予定。

（黒川）

瀬戸内海国立公園 宮島地区パークボランティアの会

事務局：環境省 中国四国地方
環境事務所 広島事務所
（〒730-0012）
広島市中区上八丁堀6番30号
広島合同庁舎3号館1階
TEL082-223-7450、FAX082-211-0455